

## 令和5年度第3回印西市廃棄物減量等推進審議会会議録

- 1 開催日時 令和6年3月8日（金） 10時00分から11時40分まで
- 2 開催場所 印西市役所 3階 大会議室
- 3 出席委員 小熊清委員、山崎久恵委員、角鹿智章委員、遠藤康子委員、吉村仁委員、坂口育子委員、白石則夫委員、間野博昭委員、赤荻千春委員
- 4 出席職員 藤巻孝クリーン推進課長、関秀史推進係長、吉野郁伸主査
- 5 傍聴者 なし
- 6 議事 議事  
(1) 第3次印西市ごみ減量計画の施策の進捗について  
(2) その他
- 7 配付資料 ・次第  
・前年度との月別比較（資料1）  
・第3次印西市ごみ減量計画の施策の進捗について（資料2）
- 8 会議概要 (1) 資料1及び資料2に基づき説明を行い、意見等をいただいた。  
(2) 議事なし

### 9 審議経過

議長 それでは、議題（1）第3次印西市ごみ減量計画の施策の進捗について、事務局より説明をお願いします。

事務局 （資料1について説明）

議長 今説明がありました資料1前年度との月別比較について、ご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

委員 全体的な説明をしていただきましたが、目標値に対する排出量が、家庭系ごみ、事業系ごみともに目標を達成できない見込みという結果になっていると思います。おそらく去年の資料でも目標達成できていなくて、今年も目標達成できていない状況、というふうに把握しているのですが、目標値は達成できないが、ごみの量は去年より減っている。ですが、目標値もこれから年度ごとに下がっていくわけですので、今年度の時点で目標を達成できないと来年度も同じように目標達成できないのではないかと、その可能性も十分あり得るのではないかと思います。ここで一步踏み込むというか、どのようなことで目標達成できるのか、その辺りに関してどう考えているのかについて伺います。

事務局 委員からご指摘ございましたとおり、昨年度、そして今年度と、ごみの排出量が減ってきてはいるが、目標値には達していないという状況が続いております。次年度の目標値は、より厳しい数字になりますが、達成できるように、各施策を実施し、皆様にご提供させていただいて、ごみの減量化を進めてまいりたいと考えております。

次に、事業系ごみにつきましては、多量排出事業者には、直接訪問指導等もさせていただいておりまして、分別の徹底やごみ減量化へのアドバイス等をしております。また、現場の状況を確認することで、より効果的な減量化の取り組みに繋げてまいりたいと考えております。

委員 どのような施策に力を入れるであるとか、このような施策は効果がないからやめようというように検討されていることがあったら教えていただきたい。

事務局 これは効果がなかったのでやめようというものは、今のところ考えておりません。今実施しているものにつきましては、継続して行うよう考えております。力を入れるもの、推進するものですが、今年度から「おいくら」という新しいサービスを始めました。これは不用品を売りたい市民が複数の買取事業者から査定をもらえるようなサービスになりますが、粗大ごみなど比較的重いもの、大きいものについての利用が多く、減量に直結すると考えておりますので、多くの方に利用していただけるよう推進してまいりたいと考えております。

委員 「おいくら」の施策については、私もホームページで拝見しました。ぜひいろいろまた実施していただいて、これは効果がないなというのはスパッとやめていただいて、その費用を他の所に使うといった検討もしていただければと思います。

事務局 はい。

委員 事業系ごみが大幅に減っていますが、どんなごみが削減されているのでしょうか。

事務局 クリーンセンターに搬入された事業系ごみになりますので、基本的に燃やすごみになります。

委員 その原因はどのようにお考えですか。

事務局 原因・理由を特定することは難しいのですが、事業者が出されるごみの量がそもそも減ったことや、これまで燃やすごみとして出されていたものを資源化ルートとして、リサイクルで出していただくようになったことなどがあろうかと思えます。

議長 そのあたり具体的に分かったりできるのでしょうか。例えば、紙類は資源化をしますよとか。

事務局 すべての事業者ということですと、現状少し難しいのですが、例えば、多量排出事業者ですと、今年度訪問調査を19社予定してしまして、回らせていただいているところですが、その際に排出ルートの変更やペーパーレス化の取り組みなどの話を伺いましたので、紙類は資源化、減量化が進められているという実感はございます。

委員 印西市の人口、徐々に増えていますが、人口が増えている中でごみが減っているというのは、すごいことなのかなと思います。

事務局 その原因・理由については、どのようにお考えですか。

事務局 これも特定することは難しいのですが、ごみ減量化に対する皆様の意識の高まりによって、まずはごみとまらないよう余計に物を買わないとされている方がいらっしゃると思います。

次に、ごみをなるべく出さないようにされている方もいると思います。

また、資源物の分別を積極的に行い、これまでごみとして出していた物のうち、リサイクル可能な物を、資源物として出されるようになった方もいらっしゃるのではないかと思います。

そういった皆様のご協力によりまして、人口が増えている中でも、ごみの量を減らすことができているという結果として現れているのではないかと考えております。

- 委員 自分も仕事をしている中で、この事業系ごみが一番減るのは、ペーパーレスかなと思います。
- 自分のところの事務所も、もうほとんど紙を使っていません。資源に出す前にまず紙を使わないというのが大切かなと思います。
- あとは不要な在庫を持たないということで、廃棄になるような物を持たないということもあります。
- そういう努力をしていかないと、人件費も上がりますし、会社の経営も難しくなるので、多分そのような部分が作用しているのではないかと自分としては推測しています。
- 事務局 ありがとうございます。
- 委員 4ページの家庭系資源物のページですが、資源物の排出量が減っているということは、各町内会さんとかが資源物回収、有価物回収を進めていることの結果でしょうか。
- 事務局 委員がおっしゃられたように、有価物回収として出されている物もあろうかと思えます。
- また、今お店とかでも、それぞれ有価物回収によりお店のポイント付与等の形で還元されるような取り組みもされております。そちらをご利用されているお客様や市民の方も、多くいらっしゃるのではないかと思います。
- 資源物に出すルート、有価物として出すルートで、お店を通して資源物として出すルートなど、資源物の出し方も、多様なルートが現在考えられますので、資源物として出すルート以外のルートを利用される方が増えているのではないかと考えております。
- 議長 今の話の中にもありましたが、スーパー等のお店で店頭回収をされている所の把握等はどのような状況でしょうか。
- 事務局 設置されている店舗につきましては、市のホームページで掲載し、紹介しています。回収量については申し訳ございませんが把握しておりません。
- 議長 回収量の数字を、おおよそでいいのでとらえて、これだけ店頭回収に協力いただいていますよということをアピールできると良いのではないかと思います。
- 事務局 大きな店舗は多量排出事業者になりますので、訪問調査の際に何うなどにより当たってみたいと思えます。
- 議長 皆さんの協力で、これだけの資源物を回収できていますという、いい情報発信ができるのではないかと思います。また、今回の資料の数字に積み上げるということも一つの方法として考えられるのかなと思うのですが。
- 事務局 公表可能なものであれば周知していきたいと考えますので、市民のごみ減量化や資源化意識に繋ぐことができるよう、データの数値化、見せ方について検討していきたいと思えます。
- しかしながら、市内にある大手スーパー等ですと、市民以外の利用も多く、資源物回収も市内の物に限られたものではないため、それをこれらの数値と一緒に積み上げるのは難しいと考えます。
- 議長 店頭回収など、いろいろな形で、皆さんが意識して出してくれているものですから、

これくらいの量が出されています、協力いただいていますということだけでもお伝えできればいいのかなと思いますので、検討をお願いします。

委員 先ほどお話のあった、これだけ協力してくれているお店ですよというように紹介できないかということについてですが、市から店頭回収協力店ということでPR等ありますが、処分するのは事業者になり、事業者にとって少なからず負担が増えることになると思いますので、難しいところだなと思います。  
まず個人レベルで、地域のみんなで集めて有価物回収をやりましょうというのが実用的かなと思います。そういった意識を高めることが非常に効果的なのではないかなと思います。

議長 他はいかがでしょう。

それでは、続けて資料2 1-1について説明をお願いします。

事務局 (資料2 1-1について説明)

議長 フードバンクISSのそれぞれの施設での回収ボックス設置ですが、日時や場所について、周知等はどのようにされますか。

事務局 現在、市のホームページでご案内しております。

議長 その他ございますか。

それでは、続けて1-2から説明をお願いします。

事務局 (資料2 1-2から1-5までについて説明)

議長 ご意見等はございますか。

それでは私から、1-5の印西クリーンセンターの事業系ごみ処理手数料についてですが、価格の算出はどのようにされたのですか。

事務局 処理手数料につきましては、定期的に見直しを行っており、現在の処理費等から算出されたものとなっております。

また、改定にあたり、他市等の処理手数料も確認しております。

議長 その他ございますか。

それでは、2-1の説明をお願いします。

事務局 (資料2 2-1について説明)

委員 2-1の①の資源の分別の徹底について、食用油に関しての提案になります。

食用油の回収については、ペットボトルに入れていただき回収しますという記載が、ホームページやさんあ〜るアプリにあります。鍋などからペットボトルに移すときに、漏斗が必要になります。「漏斗を使ってペットボトルに移してください。」という記載が、市のホームページやさんあ〜るのページにはないので、初めてやられる方はどうやってペットボトルに入れるのか、わからないのではないかなと思うので、ぜひその一文を加えて欲しいなと思います。

油は、大切な資源なので、有効活用したほうが良いと思います。個人的には、漏斗を市から使いたい方に無料配布するような施策も、廃食油のリサイクルのきっかけとして効果があるのではないかなと思います。

事務局 ありがとうございます。漏斗の使用については、例えば写真やイラストで見せるなども含め、ご覧になった方が分かりやすい形で掲載したいと思います。

委員 できれば広報いんぎいのブンベツくんシリーズに載せていただくなどして、廃食油

の回収について周知していただきたいと思います。

事務局 他の資源回収に比べ認知度が低いこともありますので、広報も含め、キャッチーな形で周知してまいりたいと思います。

議長 その他ございますか。

それでは、2-2の説明をお願いします。

事務局 (資料2 2-2について説明)

議長 ①有価物集団回収奨励金交付事業について、新規設立の町内会等へ回収参加の呼びかけを行ない、反応はいかがでしょう。

事務局 今年度は、新たに有価物集団回収を始めようということで、3団体からお話をいただいております。

委員 ③にある製品プラスチックの資源化ですが、今後の方向性は具体的に決まっているのでしょうか。

というのも、製品プラスチックの資源化は、絶対必要だと思うのです。温暖化や細かくなったプラスチック廃棄物が海に流れて、魚がそれを食べてしまうなどの問題もありますので。

事務局 製品プラスチックの資源化につきましては、実施することをベースとした検討をしているところになります。

その一環として、来年度、白井市さんの方でモデル事業としまして、実際に製品プラスチックを資源として回収する予定となっております。

また、収集体制、中間処理後どのような資源化ルートで出せるのか、発生量に対してどのぐらいのコストがかかるかなど、それによって市も財源捻出することとなりますので、実施に当たって、今それらを整理しているところになります。

議長 他はいかがでしょう。

委員 有価物集団回収奨励金交付事業ですが、市民活動推進課に市民から町内会・自治会を作ろうと思うといったような相談があった際に、この奨励金のご案内等はされているのでしょうか。

事務局 新設された町内会等に向けたご案内になりまして、これから作ろうとされている方へのご案内は行っておりません。

委員 こういったものが受けられるのなら町内会作ろうよ、となるかもしれないですし、町内会等を作るメリットにもなると思うので、相談時でのお知らせというのも検討してみてください。

事務局 ありがとうございます。検討させていただきます。

議長 その他ございますか。

それでは、2-3の説明をお願いします。

事務局 (資料2 2-3について説明)

委員 ③の「おいくら」の実績ですが、これは成立数になりますか。

事務局 利用実績につきましては、出品された数になりまして、成立したもの、成立しなかったもの両方を含んだ数字になります。

議長 その他ございますか。

それでは、3-1の説明をお願いします。

事務局 (資料2 3-1について説明)

委員 さんあ〜るは使いやすくいつも利用しているのですが、情報によってはさんあ〜るではなかなかたどりつかないことがあります。

食品ロス削減、フードドライブ、リサイクル情報広場、おいくら等の情報が市民により伝わるようにアプリ内で紹介してもらえるとありがたいなと思います。

あとリサイクル情報広場ですが、おさがりマルシェのように、非常に需要があるものだと思います。せっかく取り組まれているのに、ここまでの成立件数が12件というのは、もったいないなと感じました。

おいくら等と一緒にアプリの項目としてずらっと並んでいる等、このアプリをより使いやすく、充実させていただきたいと思います。

動画については、さんあ〜るでも紹介していただいたおかげで、行きつきやすくなりました。こちら、導入の仕方も工夫されていますが、例えば動画のタイトルをずらっと並べるというのもわかりやすい方法なのかなと思いました。

事務局 ご意見ありがとうございます。

アプリにつきましては、仕様等も確認し、より使いやすくできるところは改善してまいりたいと思います。

委員 今年度はクイズの動画を作られましたが、答えを考えるのに3択くらいにしてもらえると、よりクイズを楽しめるのではないかと思います。

事務局 次回クイズ動画作る時の参考にさせていただきたいと思います。

議長 その他ございますか。

それでは、3-2の説明をお願いします。

事務局 (資料2 3-2について説明)

議長 ②で説明ありましたクリーンセンター見学時のごみ減量化等説明会ですが、細かい調整はこれからということでしょうか。

事務局 これからになります。

議長 各学校の見学会の日程は決まっているのですか。

委員 今希望日を出しているところになります。

委員 来年度の環境フェスタの日程は決まっていますか。

事務局 6月8日を予定しております。

委員 自由帳、下敷きの配布についての必要性はどのように考えていますか。

費用もかかりますし、今後タブレット学習とかになっていって、本当に必要なのか、効果があるのかなと思うのですがいかがでしょうか。

事務局 次年度の実施に当たり、必要性等につきましては検討を行なっております。その中で、今後、より効果的な施策、方法がありましたら、そちらを実施するよう見直しを図ることとなりますが、来年度につきましては、引き続き配布による啓発がいいのではないかと考えております。

議長 他にはいかがでしょうか。全体的なことでも結構です。

委員 今年度の環境フェスタは雨で中止になってしまったのですが、雨の場合は別の場所、例えば店内でということなどはできないのでしょうか。

事務局 会場を押さえるに当たり、天気が悪かった場合使いますというのは、会場を貸す側

にとってハードルが高いのではないかと思います。

また、参加される団体の方に、事前にそういった調整は今回しておりませんでしたので、やむを得ず中止という形になりました。

来年度はゼロカーボン宣言等も予定していますので、その中で、どういうイベント構成にするかについて関係課と調整しておりますが、雨天時はこちらでという方法は、あの場所では厳しいかなとは思っています。

しかしながら、雨天のことも想定して、そもそも別な場所でできないかというのは、今後検討できるのではないかと思います。

委員 ここで議論したことが、新クリーンセンターに反映されたりするのでしょうか。

例えば、子どもたち向けの見学コースを作りましようとかってというのはどうなのでしょう。

事務局 事業者が決まって、今後事業を進めていくのですが、その提案の中には見学コースは含まれています。

今の廃棄物処理施設は、学習環境、学習機能について以前より充実されますので、活用しやすい施設にはなろうかと思います。

委員 学校の立場でお話します。

例えば本年度から小学校ではどの市内の学校でも、ストローを使わないことを奨励しています。

これは環境教育の一環として、賛否両論あるかと思うのですが、環境教育という観点からそのように行っています。

そういう形で、こちら側が現場として、思い切った舵をきらないと、教育は成り立たないと思うのです。

自由意志とか権利に任せるとやはりそこは、簡単な方に流れやすいし、今この世の中便利がかなりはびこっているんで、すごく難しいところがあると思います。

話は飛んでしまいましたが、この環境とか、この話し合いの一番大元というか目標は、かなり飛躍しますけど、地球を長く永らえさせるということだと思います。

ところが、その永らえる先というのが、1,000年、2,000年という規模で、自分たちが痛みを伴っていないと思うのです。結局、今のところ温度が多少上がっても全然快適に過ごせてしまいますので。被害を直接的に受けていないから、やはりなかなか踏み切った行動が、自分も含めて、できない部分は正直あるのだと思います。

そうなった時に、じゃあどうしようかというときに、先ほどのストローみたいに思い切って、不便を強いるということが大事だと思うのです。

自分が今、今日の話し合いでいくつか考えてみたのですが、やはり将来的にはごみの有料化は、マストだと思います。

すぐはできないと思うのですが、集積所にごみを持っていき、ごみポストのようなものにごみを入れる。ごみを入れる時に、例えばIDカードをかざし、誰のごみか確認して投函する。その重量で、自動決済等により後で引き落とされる。

そのくらいまですると、まず節約すると思います。

また、例えば、正月や年末は、ごみ収集が来なくなります。これも一つの不便ですが、不便を強いられると、皆さん多分それなりに努力しますよね。

やろうと思えば、結局そういうこともできるのです。

ですから、舵を切るとしたら、収集日を減らす、これも一つの思い切った舵のきり方だと思います。

まとめますと、今便利が溢れ過ぎていて、それが染み付いているので、不便を強いるということも一つの方法であり、その不便により、実は快適なんだよということに気付かせるのも、学校現場では大事かなと思っています。

また、先ほど下敷き、自由帳の話がありましたが、下敷きは多分もらった時は嬉しいです。自由帳ももらった時は嬉しいです。

ですが、それらを使われているお子さんは1割以内と思います。

だけど、そのもらった時だけのPRでも、嬉しさから来る印象に残り、いいと思うのです。

一方、持続性がないわけですから、その分を他に当てるという考え方もとてもいいのかなと思います。

そのようなことをこの会議で感じました。

委員 お話を聞きながら、説明を聞きながら、何点か感じることをご案内させていただきます。

市のホームページ等で検索するとき、見やすさ、たどり着きやすさ、検索のしやすさ、文字でというよりも写真や絵でわかるようなわかりやすさというのを考えていただくといいかなと思います。例えば、イラストを一つそこに取り入れるとか、表現の仕方を変えるとかっていうのはすぐできる分野ではないかと思うので、ぜひそれをしていただきたいと思います。

また、先ほどもおっしゃっていたように、ごみの問題は、何年も先を見据えてのことだと思うのですけれども、確実に温暖化は進んでいます。小学生ぐらいでしたらいろんな理解力もあると思いますので、クリーンセンター見学してきた、こんな話があったよというのを家に帰ってからされるとと思います。

先ほど自由帳や下敷きの話がありましたが、以前いんざい君のエコバックをいただいたことを思い出しまして、小学生が持てるぐらいのエコバックのようなものでもいいのかなと思いました。

あとは、可視化することも大切かなと思います。

例えば、廃食油の話がありましたが、どのようなものにリサイクルされているのか、プラスでそのような情報を入れていただくといいのではないかなと思います。

ですから、こういうことを行なっています、やりました、結果こうでしたというのを見せていただくと、より再資源化等に取り組むモチベーションも高まるのではないかなと思います。

事務局 ありがとうございます。

議長 他にいかがでしょう。

ないようですので、続きまして（2）その他について、事務局からございますか。

事務局 ございません。

議長 それでは議事につきましては、これで終了といたします。

令和5年度第3回印西市廃棄物減量等推進審議会の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和6年4月15日

印西市廃棄物減量等推進審議会

委員 遠藤 康子

委員 吉村 仁